

# キプロス通信 Vol.15 《最終回》

下野市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会におけるキプロス共和国のホストタウンです。

～ Cyprus, where it was  
ordained for me...～

レメソスのアポロン神殿

15回にわたってキプロス共和国を紹介してきた「キプロス通信」ですが、今回は最終回です。今回は、キプロス共和国の観光地をご紹介します！ ぜひ雄大な自然と様々な文明の跡が遺る文化遺産を味わいに、アフロディーテの待つ島を訪れてみてください。

## レメソス (リマソール)

### — 十字軍の拠点

島の南岸にあるキプロス第2の都市レメソスは、貿易港を擁する港町です。アフロディーテとアシュタルテ両女神の聖域だった古代王国アマサスと、ヘレニズム時代の王国クーリオンとの間にあります。レメソスを基地とした十字軍騎士団がこの地の芳醇なワインに魅了され、ワインの生産に力を入れました。

現代のレメソスは、ビジネスとリゾートの中心地。海沿いには五つ星リゾートホテルが建ち並び、カーニバルやワインフェスティバルなどのイベントも人気で、世界各地から多くの観光客が訪れます。

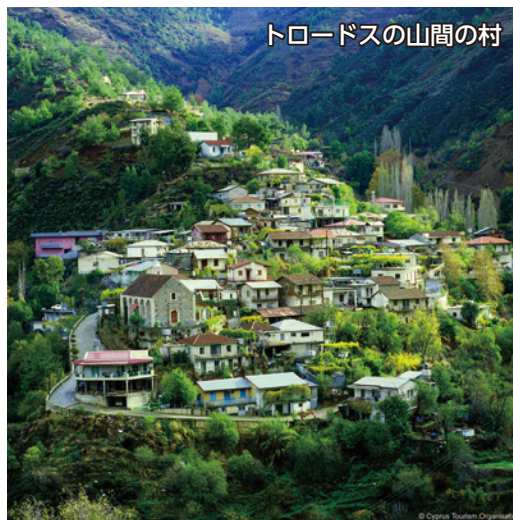
## トロードス — キプロスのハート

トロードスは、島西部のほぼ中央、標高1,951mのオリンポス山を頂とする山岳地域で、山間には中世の面影を残す静かな美しい村々が息づいています。

緑豊かな森林リゾートもキプロスの大きな魅力のひとつ。近年では地域の伝統的な生活スタイルを取り入れたアグロツーリズムの人氣が高まっています。

ビザンチン時代には多くの教会や修道院がトロードス山域に建てられ、そのうち10か所がユネスコ世界文化遺産に登録されています。

トロードスの山間の村



## アモホストス (ファマグスタ)

### — 輝く砂浜と侵食海岸

島の南東部の静かな砂浜は、マリンスポーツやビーチリゾートのスポット。ビーチバレーやダイビング競技の国際大会が開催され、日本の選手も訪れています。岬の先の侵食海岸はとても美しく、ケープグレコ (グレコ岬) と呼ばれて親しまれています。

内陸部には赤土の畑が広がり、隠れたキプロスの味覚、じゃが芋の一大生産地です。

グレコ岬



キプロスには、他にもここに書ききれないほど多くの観光名所があります！

ご興味を湧いた方は、下記のホームページをご覧ください。

- キプロスインフォメーションサービス

URL <http://www.cyprus-info.jp/>

- キプロス観光庁 (英語)

URL <https://www.visitcyprus.com/>

【写真提供】

表題：キプロスインフォメーションサービス、その他：キプロス観光庁